

③0 家庭だけで 頑張らなくていい?

No.30-1

県教育委員会では、
子どものネット利用をテーマに
出前講座を用意

●「秋田県庁出前講座」をご活用ください

保護者や教員等の要請に応じて、子どもたちのインターネット健全利用をテーマに出前講座を実施しています。H 27 年度は、21 市町村で、延べ 14,505 名を対象に 123 回実施しました。小・中学校からの要請が全体のおよそ 7 割です。ネットの問題を通して家庭教育のあり方（生活習慣、親子の関わり、コミュニケーション力、地域とのつながり）を考える内容となっており、特に保護者にはなじみやすい講座です。

詳しくは秋田県公式サイト「美の国あきたネット」をご覧ください。

県庁出前講座

検索

No.30-2

子どもは家庭や地域との関わりの中で支えられている

●家庭・地域で持続的な取組を

- 家庭**
- ・知識の習得がゴールではなく、一つでも実践することが重要
 - ・ネットの新しいことはネット上でこそ答えが見つかりやすい
 - ・18歳までは学齢が上がるたびに次のステージへ
- 地域**
- ・ネットの問題に、もはや「全く関係ない人」はいない
 - ・目の前にある「やるべきこと」をそれぞれが実行する
 - ・成果を急がずに大人の変化を大切にする

●子どもは地域全体で見守ろう

インターネット利用の問題は地域社会共通の課題です。秋田県では、変化を続ける子どもを取り巻くネット事情に対応し、地域ぐるみで学び実践する持続可能な仕組みづくりを支援しています。県が目指すのは、ネットを健全に利用できる子どもの育成です。それは将来、知識基盤社会で活躍できる有用な人材です。秋田の親子が元気で豊かな家庭生活を送ることができるよう、今後も、学校・家庭・地域がそれぞれに目標を共有し具体的に実践していくことが大切であり、県としても引き続き必要な施策を講じていきます。

うまホと学ぼう! ネット利用 ③0



家庭だけで頑張らなくていい?

地域全体で見守ろう

うまホ 保護者は、身近にいる「少しネットに詳しい」大人に相談するのも手だったよね。家庭のなかだけで解決しようとしていくっていいことかな?

県教育庁生涯学習課 その通り。ママ友、学校の先生、会社の同僚、近隣住民と、地域を見渡して、詳しい人や相談先を見つけておこう。トラブルが起きるから慌てなくていいようにね。地域ぐるみで見守る視点を持つことが大事だよ。

うまホ もし、詳しい人が見つからなかったら?

生涯学習課 それなら、地域で学ぶ機会をつくるのはどうか? **県教育委員会では、子ども**

もネット利用をテーマに出前講座を用意しているんだ。ママ友の集まりや子ども会、スポ少など、少ない人数でも出掛けていくから活用してほしい。

さて、うまホ君。ネット利用について、結構詳しくなったんじゃない?

うまホ うん。家族でネットを話題にすることも増えたよ。それに、**子どもは家庭や地域との関わりの中で支えられている**んだってことも実感したよ。よし、僕もネットを上手に使いこなせる大人になるぞ! でも、困ったときはまた相談に乗ってね。(構成・土田絵美子) **〈終わり〉**

子どもを
地域ぐるみで
見守ろう!

